



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事により排出される廃棄物を管理し、適正に処理を行っている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・CO <sub>2</sub> 排出量算定システム「炭削くん」にて電力やガソリン、自社のエネルギー使用量を毎月把握し、削減に取り組んでいる。 ・事務所においてはLED化することでエネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3					13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「排出ガス対策型建設機械」に段階的に更新している。 ・CO <sub>2</sub> 排出量算定システム「炭削くん」にて自社の二酸化炭素の排出量を毎月把握し、削減に取り組んでいる。 ・事務所の不要な電気の消灯やエアコンの温度設定の見直しを行うことで省エネを社内で徹底し、温室効果ガス削減に取り組んでいる。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、水筒を持参し使い捨てプラスチック製品などの使用削減に取り組んでいる。 ・河川工事時の際、汚濁水防止フェンス導入することで生物多様性の保全に取り組んでいる。 ・「排出ガス対策型建設機械」を使用することで、自社の活動が環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・環境に配慮した資材、製品の利用を促進している。 ・建設発生土を保管、分別し、性質に応じて適切な用途に再利用することで、廃材を抑制し再生資源としての利用を促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所敷地内に井戸を設置している。 ・土木事業を通じて河川維持等の社会資本整備への取り組みを行っている。 ・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施しており、事業所内設備に節水器具を使用している。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15				17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・ペーパーレス化推進及び再生紙利用に取り組んでいる。 ・低騒音型・低振動型・排出ガス対策型建設機械へ代替促進に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3		14	15				17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所や事務所周辺に花壇や植栽をすることで緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。											11.6 11.7			13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5			13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・事業を通して山地から伐採された県産木材を、木質発電施設へ提供しエネルギー利用へ間接的に貢献している。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・協力企業が主催する植林活動へ参加することで森林整備に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・河川工事時汚濁水防止フェンスを導入している。 ・プラスチックの使用削減や環境に優しい素材の使用に取り組んでいる。 ・現場や事務所での廃棄物については、分別を徹底することでプラスチックごみの削減・海洋汚染防止に取り組んでいる。													12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車のハイブリット導入を行っている。										9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2	

